

## 「工夫した書く活動」に関する手だて

### (1) 書きこみノートで思いを深める

書きこみノートは、専用の冊子を用意せずにノートに縮小コピーを貼り、下段に書きこみをした。またどんな内容を書き込むといいか（左下）を示した。子どもにとって適度な量とするために専用の冊子は作らなかった。書きこみのために膨大な時間を使うと、本時にたどり着く前に、子どもが飽きてしまうのではないか。

**書きこみのしかた**

- ・心の中をそうぞうしてふき出しを書く。
- ・線を引いて、思ったことを書く。  
黄色…関係のある言葉と言葉を線でつなぐ。  
橙色(オレンジ)…ふしぎなできごと。  
水色…ハテナ?と思うこと。  
黄緑…松井さんの性格がわかるところ。
- ・問題とその答をつくる。
- ・辞書でことばの意味を調べる。
- ・場面の絵をかく。

本文の 縮小コピー	行間に個人 の思いなど	本文の 縮小コピー	行間に個人 の思いなど
思ったこと	感想	全体の学 習問題と個 人の考え	Q & Aの問 題づくり
意味しらべ			

### (2) 学習問題づくり

Q & A問題を各自が作って班の中で問題を出し合う。班の中で解決できなかった問題が全体で学習する価値のある問題（学習問題）になる。これを「〇〇さんの問題」と掲示し、授業の中に位置づけた。

- ① Q & A問題を書きこみノートに書く。クイズ的なものも含め玉石混淆。
- ② 問題の答えをまず自力で考える。
- ③ 作った問題を班で話し合う。答えが明確なものはそこで解決。
- ④ 班学習でわからない問題は画用紙に書いて掲示（〇〇さんの問題）する。
- ⑤ 似ている内容を整理して分類する。
- ⑥ 全員で話しあう価値のある学習問題ができる。

### (3) 友だちタイムでの話し合いを視覚化する

友だちタイムでは、話し合いの様子が見えにくい。そこで、友だちタイムでどのような影響を受けたのか付せん紙に色分けして書くことにした。黄色は自分に関すること、赤は友だちに関することとした。

- ・黄付せん紙：自分の考えが更に深まった。
- ・赤付せん紙：友だちと話して気づいた。考えがいいなと思った。

一斉学習では、この付せん紙（友だちタイム以降の内容）について話をさせる。その際、目を落とさないで級友と目を合わせて話ができるように、一番話したい一枚（内容）を選び、事前に話す内容を覚えさせる。

### (4) 本時で話し合った全体像を俯瞰する

各自が書き込んだ付せん紙を授業の終盤に黒板に貼りたい。友だちタイム後の一斉学習で自分の考えを述べるができる子ばかりではない。自分の思いに近いところに、この付せん紙を貼ることで深まった考えを表現させたい。